

演
題

劇場をひらく、 土地をひらく

聴講
無料

※事前の申込が
必要です

～まつもと市民芸術館の芸術監督をしていて考えたこと～

日時 令和8年 **2月12日** 木 16:00～17:30

講師 **木ノ下 裕一 氏**

(まつもと市民芸術館 芸術監督団団長・演劇部門芸術監督)

場所 **ホテル国際21 3階 千歳の間**
長野市県町576 TEL 026-234-1111

※ホテルの駐車場は有料となりますので、あらかじめご了承ください。

お申し込み方法

聴講ご希望の方は、参加希望者全員の氏名・住所・電話番号を明記の上、ハガキ、FAX、Eメールでお申し込みください。

聴講券の発送はありません。直接会場にて受付いたします。

※応募者の個人情報は受付時の確認のみに使用いたします。

ハガキで 〒380-0834 長野市大字鶴賀間御所町1289-1 丸本ビル2F
NPO法人 長野都市経営研究所「ニュープリ」宛

FAXで FAX. 026-235-6166 Eメールで nupri@nupri.or.jp

木ノ下 裕一 (きのしたゆういち)

木ノ下歌舞伎主宰。1985年、和歌山市生まれ。
小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受け、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006年に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『夏祭浪花鑑』『義経千本桜—渡海屋・大物浦—』『糸井版 摂州合邦辻』など。2016年に上演した『勸進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回(令和元年度)京都府文化賞奨励賞受賞。NHKラジオ第2『おしゃべりな古典教室』のパーソナリティーを務めるなど多岐にわたって活動中。まつもと市民芸術館ではこれまでに数々の作品の上演を行うほか、「信州まつもと大歌舞伎」では補綴(台本の再編集)や作品の解説を行う「歌舞伎ナビ」を開催するなど、松本市との関わりも深い。

平林岳志 撮影